

U-8 タグラグビー 指導・レフリング講習会

日時：平成30年11月18日(日)

14:30-16:00

場所：三木防災公園人工芝グラウンド

兵庫県ラグビーフットボール協会普及育成委員会
兵庫県スクール連盟・兵庫県レフリー委員会

講習会の流れ

- 1、デモンストレーション（講師：伊丹RS小野）
兵庫県ラグビースクールタグ班 & 有志
- 2、タグラグビースタート（担当：県協会牧野）
（用具・ルール等）
- 3、タグラグビー体験（北神戸RC野崎・荒瀬）

基本の考えとルール

- プレーヤーズファースト
(安全と普及・長期育成)
- 国際標準・国内一斉
- 統一ルール

用具等

○不要

- ・ヘッドキャップ ・ マウスピース
- ・ショルダーガード（着用は妨げない）

○スパイク・トレシュー（交換ポイント不可）

○ジャージその他は、ミニ準じる。

○ジャージの裾は、パンツの中に入れる。

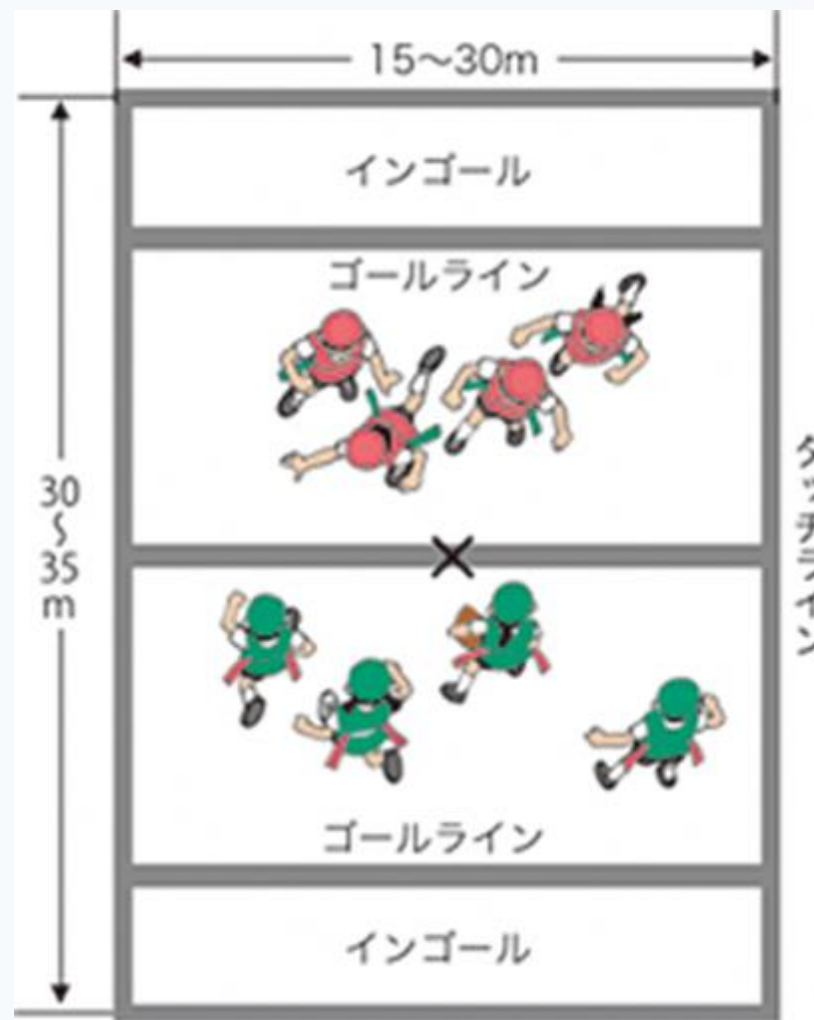
2 兵庫県ルール

①グラウンドサイズ

A: $14 \times 20 + (2)$

B: $20 \times 30 + (2)$

【提案A】



2 兵庫県ルール 【提案B】

②ボール 3号以下

A: 3号球

B: タグ専用ボール

C: ウレタンボール



2 兵庫県ルール

③人数 5名

⇒ 5～13人 交替(トライ時:自由)

④時間 5分ハーフ

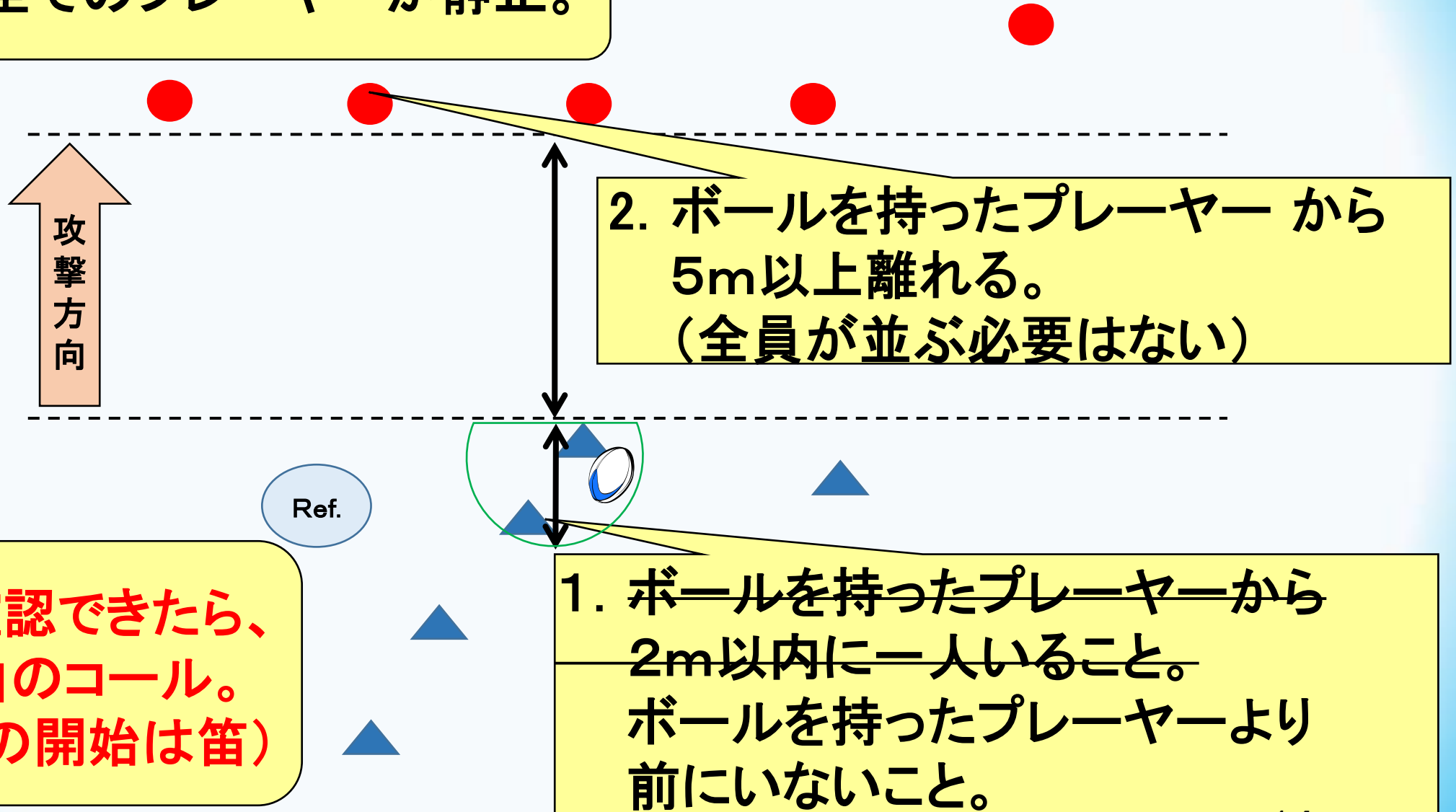
⇒ (オンプレータイムアップ)

⑤開始 ジャンケン等

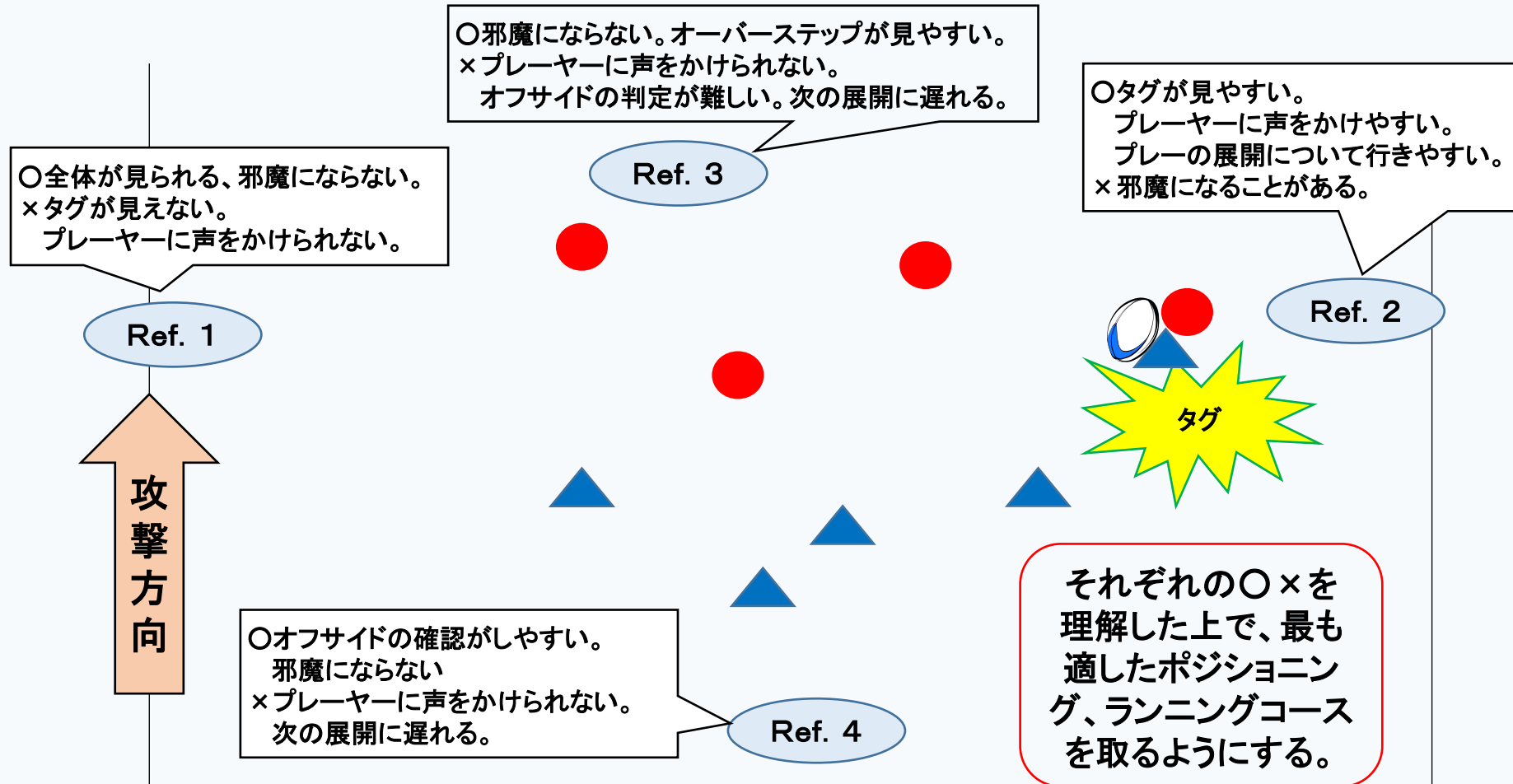
⇒ 事前にトス

①試合中 …フリーパス(ゲームの開始、再開)

3. 攻守全てのプレイヤーが静止。

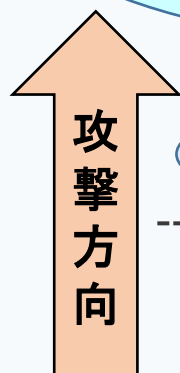


②試合中 …ポジショニング・ランニングコース



①試合中 …タグ

「タグ、数」と
コールする



Ref.

〈タグを取ったプレイヤーの義務〉

- ・タグを頭上に掲げる。
- ・「タグ」とコールする。
- ・攻撃側のパスを邪魔しない。
- ・タグを手渡しで返す。

タグ

オフサイドライン

パス

〈取られたプレイヤーの義務〉

- ・速やかに前進を止める。
- ・ボールをパスする。
- ・タグを受け取る。

〈防御側プレイヤーの義務〉

オンサイドの位置に戻るまで相手の攻撃を邪魔しない、ならない。

2 兵庫県ルール

①フリーパス

②パス 真横か後方

③ノックオン

④タグ・ターンオーバー

⑤オーバーステップ

⑥トライ

⑦オフサイド

⑧タッチ

⑨不正・危険プレー

①フリーパス 【提案C】

- ボールを持ったプレーヤーがその位置から動かずに、レフリーの合図で、前方ではない味方のプレーヤーにパスをすること。
- 1 前後半の開始、トライの後、反則があったとき
 - 2 防御側のプレーヤーは、すみやかに5m下がる。
ボールをキャッチ(触れる)時点で、オフサイドは解消
- 1 レフリーは、防御側プレーヤーの後退並びに静止を確認してから「プレイ」のコールをかける。
 - * 十分ではない状況で競技が始まった場合、フリーパスをやり直させる。指導で改善しないときは、攻撃側にフリーパスを与える。
 - * インゴール及びゴールラインから5m以内のフィールドオブプレーではフリーパスは行わない。

②パス

プレイヤーは、自分の真横もしくは後方にボールを投げること[パス]ができる。

- * 前に投げることはできない。

スローフォワード(反則)

- * キックによるパスはできない。

③ノックオン（検討D）

A: プレーヤーがボールを受け損ねたり、ボールが腕や手に当たったりして、ボールが前に進むことを「ノックオン」とする。

B: 故意でなく、ボールが地面に落ちたときは、自立した状態で拾ったチームのボールとする。（接触が予測される場合、相手ボール）

④タグ

ボールを保持するプレーヤーのどちらかのタグを取り、頭上にあげて「タグ」コールする。

①タグを取られたプレーヤーは直ちに前進を止め、ボールをパスする。

②タグは相手に手渡しで返す。

③タグを取られたプレーヤーは、すみやかに相手からタグを受け取り、タグを腰に着ける。

* 防御側がタグを4回取ったら攻守交代する。

⑤オーバーステップ 【提案E】

タグを取られたプレイヤーは直ちに前進を止め、ボールをパスする。

* めやすは3歩だが、3歩動けることができるのではない。

* すみやかにパスができなかった場合、タグの地点から攻撃を再開する。

⑥トライ

正規にタグを着け、自立しているプレーヤーが相手インゴールにボールを着けると1点が得られる。

*トライ後の再開は中央から相手のフリーパス。

* ①②はトライは認められず、攻撃側の5mフリーパスで試合を再開(タグの回数は継続する)

①両足がインゴールに入らずトライ。

②インゴールでタグを取られた後、トライ。

⑦オフサイド

タグを取られたプレーヤーがパスした地点を基準とし、ゴールラインに平行なオフサイドラインができる。

- 1 前方にいる防御側のプレーヤーは速やかにオフサイドラインの後方に下がる。
- 2 下がりがきれないプレーヤーは、攻撃側のプレーヤーがパスをしたり走ったりするのを妨げない。

②プレーの継続を支援する(1)-1

❖〈オフサイドとオーバーステップについての共通理解1〉

攻撃側は(自らミスを行さない限り)、
4回攻撃を(「タグ」のあと、パスが)できる

※ミス...ハンドリングエラー(含インターセプト)、タッチ、コンタクト



前進を止める方法は、オンサイドからタグを取ること



タグの後、防御側プレーヤーは、タグを取られたプレーヤーがパスをする位置より自陣ゴール側に戻って相手に攻撃させること。
(戻りきれない場合は、相手の攻撃を阻害してはならない)。
→これに反する行為が「オフサイド」

②プレーの継続を支援する(1)-2

❖〈オフサイドとオーバーステップについての共通理解2〉

防御側は、正当にタグを取ることで、地域的な前進を止められる。

・・・4回の「タグ」で相手から攻撃権も奪える。

攻撃側は、タグ後、地域的に前進せずにパスのみができる。

→これに反する行為が「**オーバーステップ**」

③試合中 …アシスタントレフリー（AR）との連携(1)

(1)ARとの連携のポイント

- I . ARは下記①～④、旗を上げてレフリーに進行の停止を要求する。
- II . レフリーはARの旗が上がったら、試合の進行を止める。
旗を上げたがプレーが続いているとき、反対側のARも旗を上げる。

(2)ARが注視するポイント

- ① フリーパス時、プレーヤーがオンサイドまで下がっていない。
- ② フリーパス時に全プレーヤーが制止していない。
- ③ ボール・ボールを持ったプレーヤーがタッチラインに触れる、出る。
- ④ タグを正しくつけていないプレーヤーがプレーに関与する。
(ボールに触れる。タグを取る)
- ⑤ 試合を進行させるのが不適當と思われる事象が生じたとき
(レフリーの目視できない反則、コンタクト、負傷、ファールプレー等)

⑧タッチ

①キャリアーがタッチラインを踏む、超える。

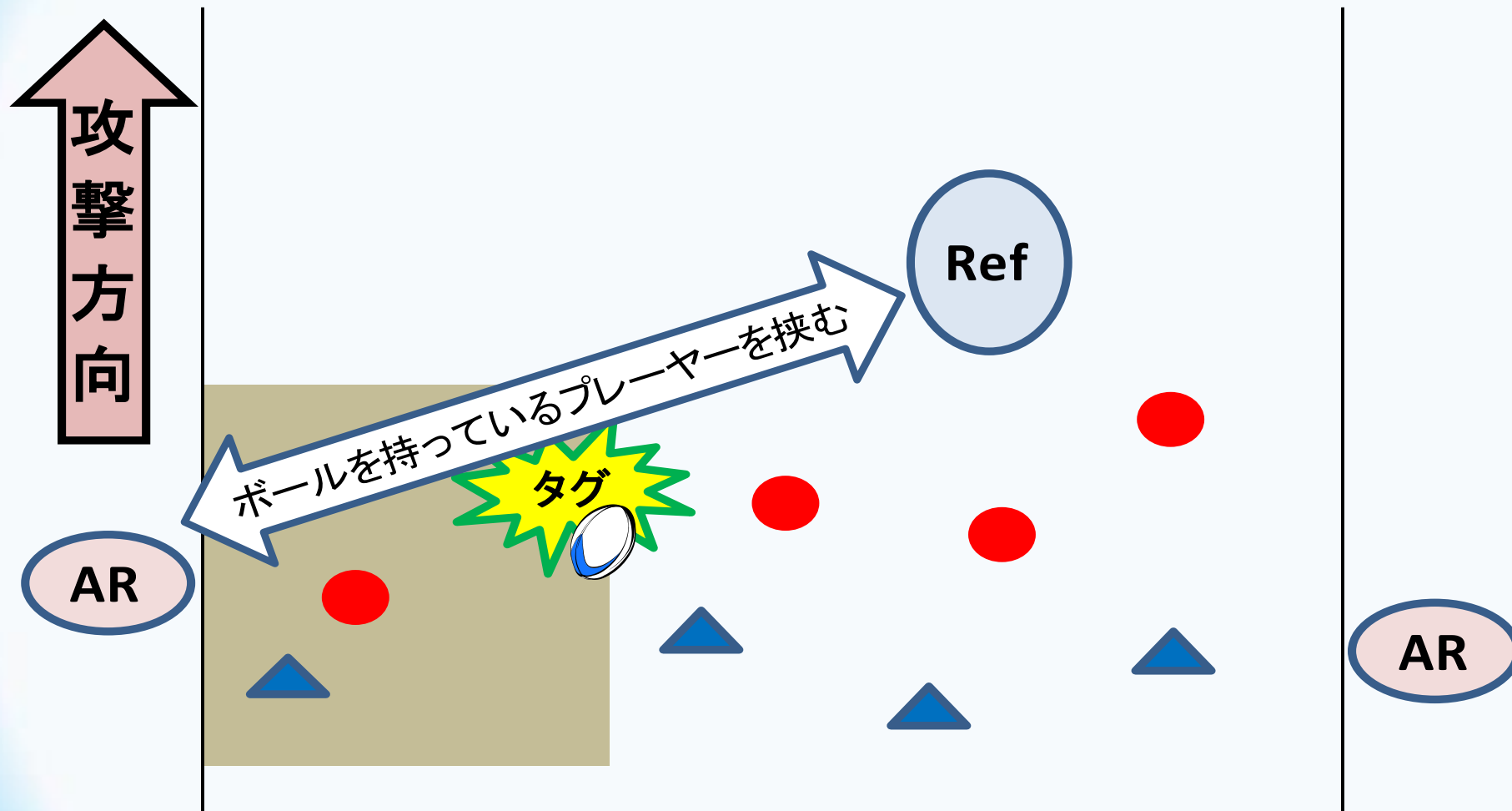
②ボールがタッチラインに触れる超える。

再開はその地点から相手側がライン外から投入。

③タッチインゴール及びデッドボールラインに触れる、超える。相手側の5mフリーパス

(3) 自チームのインゴールにボールを着ける。
相手側の5mフリーパス。(キャリーバック)

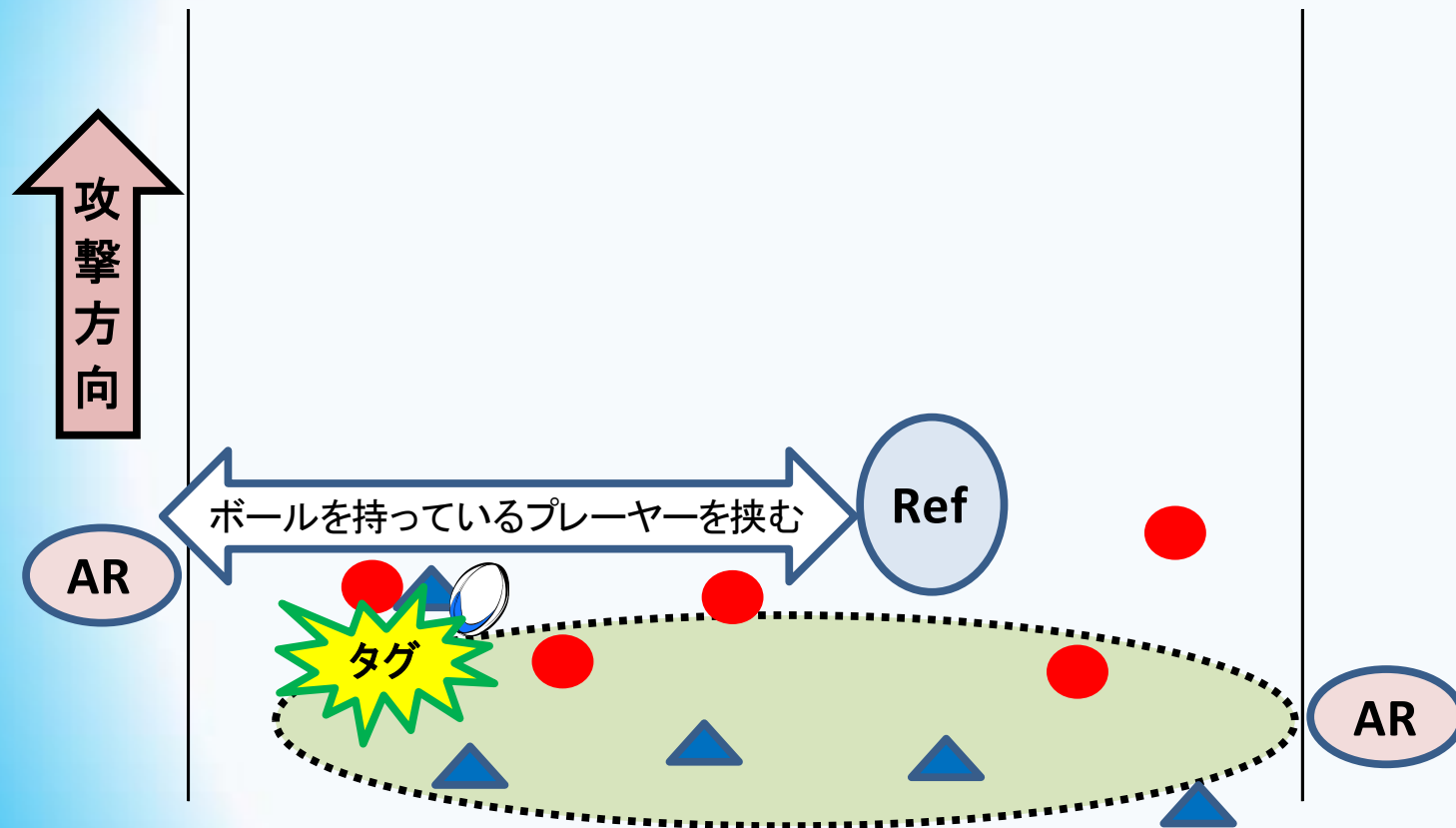
③試合中 …アシスタントレフリー(AR)との連携(2) - ポジショニング -



※Refの見えにくいところ、ハンドオフ、コンタクト、オフサイド等 要注意。

③試合中 …アシスタントレフリー(AR)との連携(3)

ファールプレー(含「タグの受け渡し」)は、レフリーが目視しにくい。
悪質な行為は、ARは旗を上げ、レフリーに競技の停止を求める。

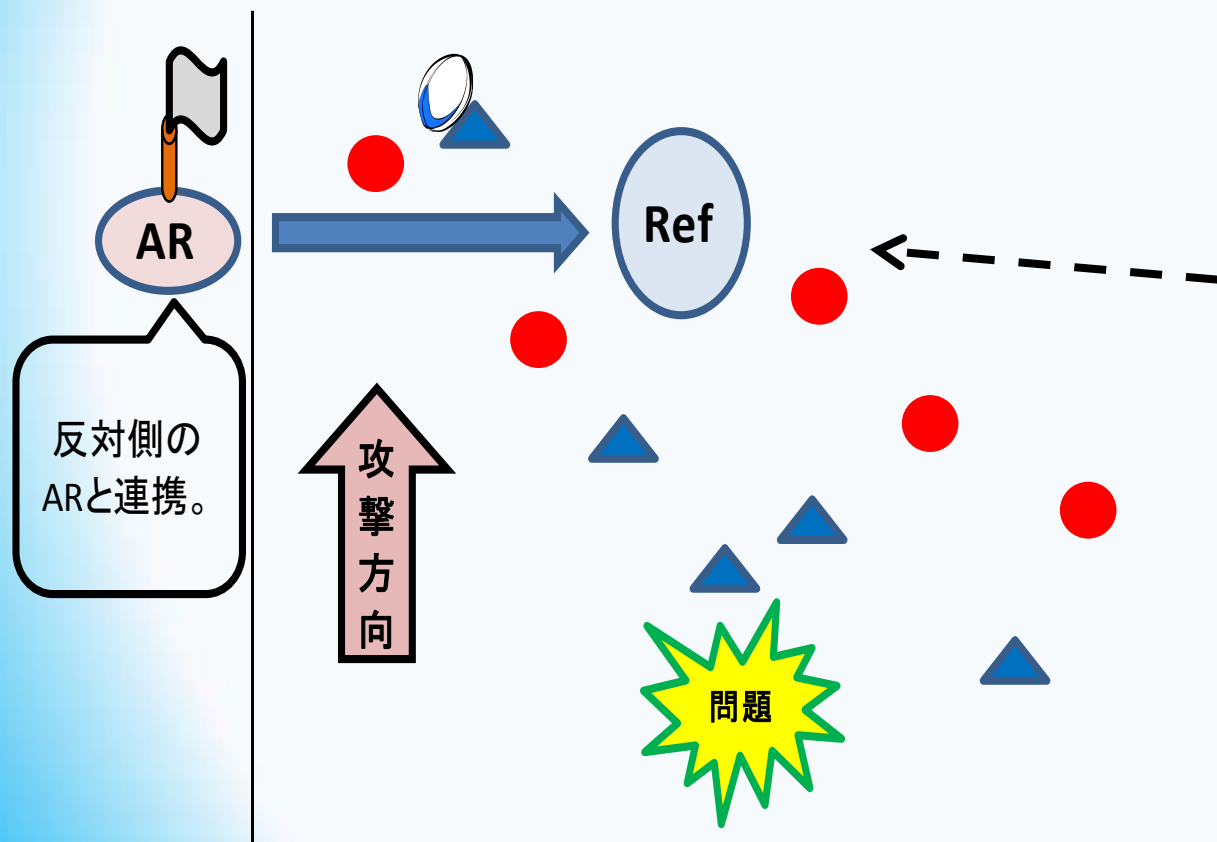


※タグ後のタグ受渡し、タグの落下等に注意。
問題がなければ、ボールの方向へ。

- I. タグをとった側も、とられた側も静止している。
- II. しっかりと手渡しで行われている。
(×押しつけ、投げ捨て、受け取らない)

③試合中 …アシスタントレフリー (AR) との連携(4)

競技停止を求めたARは、以下の要領でレフリーに伝える。
☆最終的な判断はレフリー



- I. どこで
- II. 誰が
- III. 誰に
- IV. 何をした
- V. 何に当たる
(退場、注意等)

⑨不正・危険なプレー

- * 体当たり、ハンドオフ、手を払う
- * 待ちかまえている防御側プレーヤーに向かって走る、接近する。
- * 複数のプレーヤーの狭い間隙を、過度の速度で直線的に走る。
- * 進行方向に背中を向けて走る、
- * 相手をかかわすために1回転以上回転する。

⑨不正・危険なプレー

- * タックル、タグ時の接触、タグ後相手と接触
- * 意図的に遠い側のタグを取る。
- * 接触が避けられない体勢、速度でタグを取る。
- * 後方から同時に両方のタグを取る。
- * タグを取ることを目的とせず、接近したり、追い込んだり、両手を広げたりする。
- * 身体や足で進路をふさぎながらタグを取る。